



# GIFU MINAMI LIONS CLUB

～ 2024 - 2025 ～

## 岐阜南ライオンズクラブ例会報告書

### 第1599回 文化を感じる例会

2024年11月7日 (木) 12:15 岐阜県美術館 司会 L.土本 俊一

334 複合地区 スローガン

ニーズにこたえるライオンズクラブ  
感謝でかえよう複合地区から

334-B地区 スローガン

人々に健康と希望を!! We Serve  
楽しくなくちゃライオンズ

岐阜南ライオンズクラブ会長方針

ライオンズクラブに在籍している意義を今一度見直し、  
物心両面で実り多いクラブメンバーをみざそう!  
～クラブで友と出逢い、友と大いに語ろう～

### 例会プログラム

#### 第1599回 文化を感じる例会

【会場：岐阜県図書館内 レストラン杏】

開式ゴング 会長 L. 加藤 憲  
国旗及びライオンズ旗に礼  
国歌並びにライオンズクラブの歌 斉唱  
会長あいさつ 会長 L. 加藤 憲

《 食 事 懇 談 》

～移動～ 岐阜県図書館 ⇒ 岐阜県美術館

【会場：岐阜県美術館 講堂】

11月度慶祝行事 幹事 L. 可児 隆  
誕生日祝い  
L. 安江 靖和 L. 大島 恵子 L. 松岡 洋良

岐阜県美術館 特別展のご説明

「PARALLEL MODE:山本芳翠～多彩なるヴィジュアル・イメージ」  
廣江学芸員

TT登場 TT L. 岩澤 暁生  
アクティビティ・委員会報告及びご案内 各委員会  
幹事報告及びご案内 幹事 L. 可児 隆  
出席報告 出席委員  
会計報告 会計 L. 加藤 知彦  
次回例会ご案内 計画委員長 L. 土本 俊一

11月21日 (木) 羽島LC合同例会

岐阜グランドホテル 12:15開始

また会う日まで

閉会ゴング 会長 L. 加藤 憲

### 会長あいさつ

会長 L.加藤 憲



今日は文化を感じる例会という事で岐阜県図書館・美術館になりました。

最初に申し上げたのが私も風邪を引きまして喉風邪で熱はないのですが、皆さんに迷惑を掛けてもいけないので、ご挨拶が終わりましたら早退させていただきます。本当は文化を感じたいのですが心を鬼にして今日は早退させていただきますと思います。

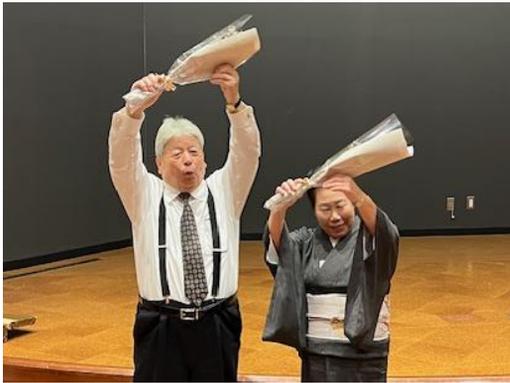
ぐっと肌寒くなり、通年通り仕事をしているつもりですが、私自身コロナ期間中はずっとマスクをしておりました。それでその時期は風邪を引かなくなったんです。でもこの1年間5類にもなったしマスクをしていなかった。マスクをしない生活になったら久々に風邪を引きました。やはりマスクの実証をしたなと思っております。

この度クラブの事務局が無事に移転して作業もだいたい終わって、ご協力して下さった皆さん、ありがとうございました。お疲れ様でした。

世の中は野球シリーズも終わり野球ファンの方は楽しみが無くなってしまいましたけど、先日DeNAが3位からの下克上優勝しましたから、最後まで諦めないという教訓を頂きました。今日は宜しく願います。

## 11月度慶祝行事

L. 可見 隆



### 誕生日祝い

2日 L. 安江 靖和 16日 L. 大島 恵子  
22日 L. 松岡 洋良

## 岐阜県美術館

廣江学芸員



こんにちは。今日はどうもありがとうございます。  
岐阜県美術館の山本芳翠展を今から簡単に説明させていただきます。

当館は開館して42年目になるのですが、この作家を検証するにおいて岐阜にゆかりのある作家というのは皆知っていたんですが、山本芳翠の名前を知っている岐阜県民はほぼ居なかった。ただ岐阜県の昭和40年以降の子供達は知っていたんです。何かかと言うと実は修学旅行で東京国立博物館に行く事が決められていたんです。東京国立博物館の一番最初の壁に山本芳翠の額が飾られておりました。その次に高橋由一、黒田清輝、浅井宙と並び「これが岐阜の明智町の作家だよ」と。山本芳翠という作家は日本に洋画という物を持ち込んだんだという解説を必ず聞いていたそうです。

彼はフランスのジャン＝レオン・ジェロームという作家を支持していました。支持した作家の一人、オディロン・ルドンという方の作品を当館は主軸としてコレクション形成する。そこに色々な作家をくっ付けて行くという方針を掲げまして開館展を行いました。オルセー美術館はまだ立ち上がってませんでしたが、当時の岐阜県美術館長が「そもそも岐阜はどこにあるの?」「まだ美術館も出来てないじゃないか」と・・当時は岐阜県美術館は荒川修作の茶碗1点しか収蔵してなかったんです。

その中でルドンや芳翠を借りれる美術館が出来るのか・・殆どの全国の美術館はメディアを通して借りています。当時の担当者はそれが非常に悔しくて「オルセー美術館だってまだ立ち上がってないじゃないか」。。まずは山本芳翠という作家の作品を収集しようと、展覧会を通じて岐阜県に寄贈してもらった。これが岐阜県美術館と山本芳翠の始まりでした。

1880年(明治11年)この時代まだ日本は「廃刀令」が出て、鬚をゆったり刀を差すのを止めようと、姓を持ちましょうと、まだそんな時代です。そんな時に芳翠はフランスに渡って作品を創った日本最初の洋画家です。私達は開館して芳翠展を何度もやろうと思いましたが、それは実現出来なかった。理由はハッキリしてます。重要な作品は国に入ってるし、主なコレクションは旧宮家に入る。まずそんな物を貸してはもらえない。一番のコレクターが明治天皇だったんです。明治天皇の御物を借りるなんて事はほぼ皆無です。今でも借りれるとして一つの展覧会で2点まで。でも山本芳翠という作家の作品を私達はどうしてもやりたくて30年前に岐阜県美術館で実は芳翠展をやっています。この時に借りた作品は実は50点を切ります。ですが当時大変な反響がありまして、岐阜県で山本芳翠という作家が出た、日本の洋画史を変える人だと。私達は何とか50年目に芳翠とオディロン・ルドン展をやりたいと思い、それから展覧会から交渉を重ねていきままして、まずは指定文化財にしました。山本芳翠の作品は個人蔵を寄贈してもらったので、県民のラフをして下さい。このラフをまずは国指定文化財へ。これ面白くて国宝は洋画だろうが日本画だろうが関係なくて、土の下から出てくる土器、それから室町時代の甲冑。こういった物と同じ扱いになります。日本国民にとっての宝、1000年という時代の中での宝を守っていく国宝、重要文化財とするわけですけど、近代技術の中で洋画の指定された作品は40点ばかりです。全国に5000という近代技術が使われている国立館がありますが、その中に40点に満たない作品を取り合って展覧会をしている。今から10年前に「地方美術館から指定文化財を出した」と当時ニュースになりました。三面鏡の土偶、源頼朝の甲冑、その横に山本芳翠のラフ、その年に東京国際博物館で公開されました。今年はそこから10年目になります。当館は国民文化祭の年に当たります。宮中にある天皇皇后様がお住まいになっている宮家とは別に、明治天皇がおられた場所は戦争で燃えてしまってますが、今も江戸城の辺りにいくつか建物がございまして、その中に山本芳翠の作品が今も利用される形で展示されている。

この展覧会は7年前から交渉して指定文化財になる作品を公開する機会になるのでと宮内庁に提示して今回明治天皇が持っておられる40点全てを実はお借りしています。私と松岡が展覧会を担当したんですけど「これはある一人の作家の展覧会ではなく、この国の成り立ちに関わる作家を扱う」という思いと、十二支の絵を飾る私達学芸員も実は見るのが初めて。そしてびっくりしたのが明治天皇が見られて、片付けられていたが今日まで揃いで見た人は誰も居なくて、当時見た人は今は一人も生きていない。一番は130年振りの公開という事で大変大きな内容になっています。今回文化庁の主催という事で岐阜県美術館と共同でこの展覧会をさせてもらう国事という扱いになり撮影禁止です。宮内庁・皇居三の丸の許可を得まして今回のみ初展示。初展示という事はあるように感じますが、次は岐阜県ではひょっとしたら無いかもしれません。

見所としましては天女。三日月を弓に例えまして矢を放つ天女。これは岸田劉生の家にあった物です。後に岩崎家に移動しまして現在まで非公開。研究者でも10人位しか見た事がない幻の作品。そして一番最初に皆さんをお迎えする「太平記」にも出て来た作品で、これも明治天皇が見られてから初めて公開されます、奥の部屋にあります十二支。12枚のうち10枚が公開されています。あと2点は岩崎家が空襲に遭っていますので焼けてしまいました。10枚全てが公開されるのも初めてなので是非ご覧下さい。

それから会場の後ろの方は日清戦争・日露戦争。様々なメディアの方が当時、天皇皇后に言われたわけです。その報告の内容も信憑性がないとの事で明治天皇が直々に「山本、お前が行って状況を見て来い。それを全て絵に落として報告しなさい」との事で天皇直属の部下として戦地に赴きまして現状を初めて伝えたとと言われております。本当は明治天皇には、日本国民が戦争で勇ましく戦っている姿は良いが、死んでいたり血を流していたりする所は見せてはいけない事になっていますが、それを包み隠さず見せて、その事を許可したのは伊藤博文。当時の総理大臣でこれが真実だと見せたわけです。それで日清戦争が終わる。続いて日露戦争も芳翠はやはり同じように明治天皇の命を受け戦地に行きまして、当時は行った先で大佐の方から山本芳翠に「本当に明治天皇はお前を派遣したのか？」と伝令を出したんです。伝令の確認も今回宮内庁から出て来ています。戦地の様子は速写と言って水彩画で描かせて、それをすぐ明治天皇へ見せるという事をした、そのままの作品が今回展示されております。その絵を見られた明治天皇は一つの箱に収められて「ここに絵を描いてくれ」と描いた後更に封印してくれと、ただ国民にいつでも見れるように、本当の封印ではなく絵による封印。その現物も今回初公開。明治天皇以降、触った者もおらず、中にお手紙が入っていたり開ける時にびっくりしました。まさにその時代の物を見る事によって、私達美術館で展覧会をしながらも博物館の様な感覚で展覧会を仕上げました。

岐阜県美術館で何故山本芳翠展を扱っているのか、それは強郷土の作家だから。そして今回が30年前にやった展覧会よりも、もっと大きな状況にして国内にある山本芳翠の殆どの作品を見る唯一無二のチャンスであると、是非ご覧下さい。ありがとうございました。



## TT登場

TT L.岩澤 暁生



◇L.川出 正男

¥3,000

家族会員の妻、清子が出席させて頂きました。

◇旅行部会（お世話係一同）

¥18,851

旅行部会として29名で御在所岳・椿大神社・パラミタミュージアムへ行って来ました。楽しかったです。次回来春もご参加お待ちしております。会長・幹事から¥10,000のご報酬を頂きました。ありがとうございました。残金をドネーションします。

## 出席報告

出席委員会

正会員 50名 出席 35名  
出席率 70%

※【献血協力者】 【ライオンズプレート】は  
今回は記載情報無し。

## 会計報告

会計 L.加藤 知彦

ファイン・ドネーション

¥52,351

### 【次回例会のご案内】

11月21日（木）12:15  
岐阜グランドホテル

「羽島LC合同例会」

